

データでわかる在宅ワーク

平成 25 年度厚生労働省委託事業における「在宅ワーカーに関する調査」の結果を掲載します。

■基本情報

- 対象者：全国の在宅ワーカー（15～69 歳）
- 調査方法：インターネットによる Web アンケート方式
- 調査時期：2013 年 10 月
- 有効回答数：1,236 件

■調査項目

1. 在宅ワークの経験年数
2. 仕事の獲得方法
3. 取引先の企業数
4. 過去 1 年間の取引先毎の状況：収入
5. 過去 1 年間の取引先毎の状況：仕事の内容

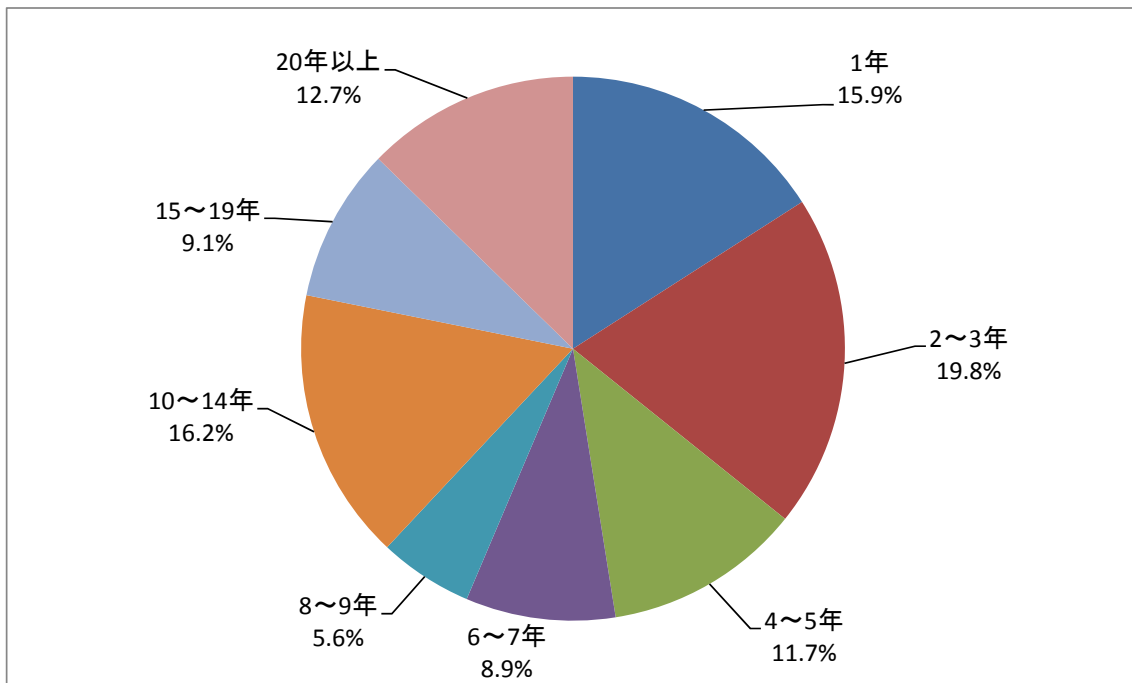
注： SA：択一回答 MA：複数回答 n：回答数

■調査結果

1. 在宅ワークの経験年数 (SA, n=1,236)

あなたは、在宅ワークを何年間行っていますか。

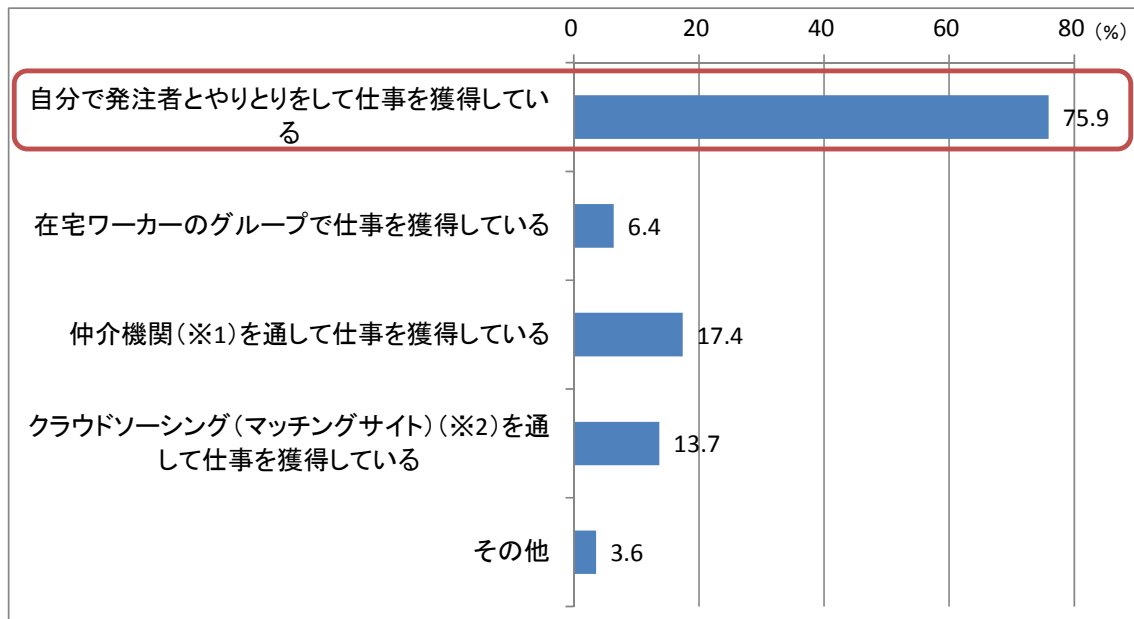
在宅ワークの経験年数については、1～3年が約35.7%であり、10年未満が61.9%となっている。



2. 仕事の獲得方法 (MA, n=1,236)

あなたはどのように仕事を獲得していますか。あてはまるもの全てにチェックをつけてください。

仕事の獲得方法については、「自分で発注者とやりとりをして仕事を獲得している」回答が 75.9%と最も多く、「仲介機関を通して」は 17.4%、「クラウドソーシングを通して」は 13.7%である。



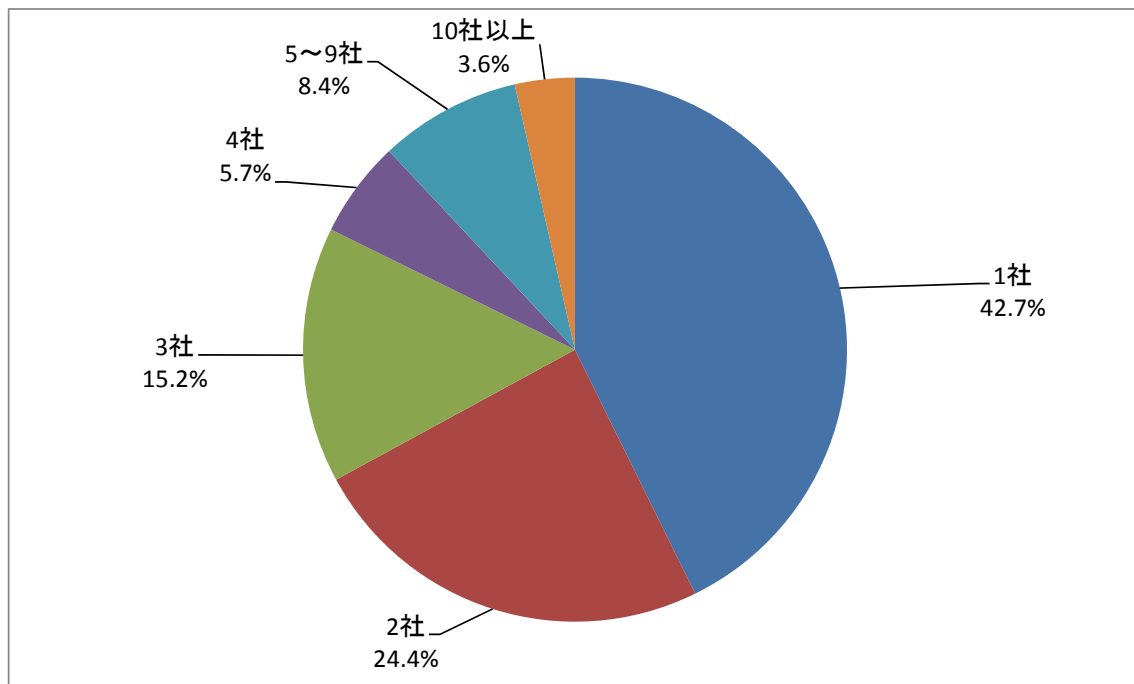
※1 「仲介機関」とは、企業や個人事業主から受注した仕事を、在宅ワークを行う個人に対し再発注を行う業務請負会社、在宅ワークエージェント会社のこと

※2 「クラウドソーシング(マッチングサイト)」とは、オンライン上で、在宅ワークの仕事を依頼したい企業等が仕事内容を登録し、在宅ワーカーが応募して仕事を得ることができるサイトのこと

3. 取引先の企業数 (SA, n=1,236)

この1年間に在宅ワークの仕事を受けた取引先企業数（仲介機関、クラウドソーシングを含む）は、何社でしたか。

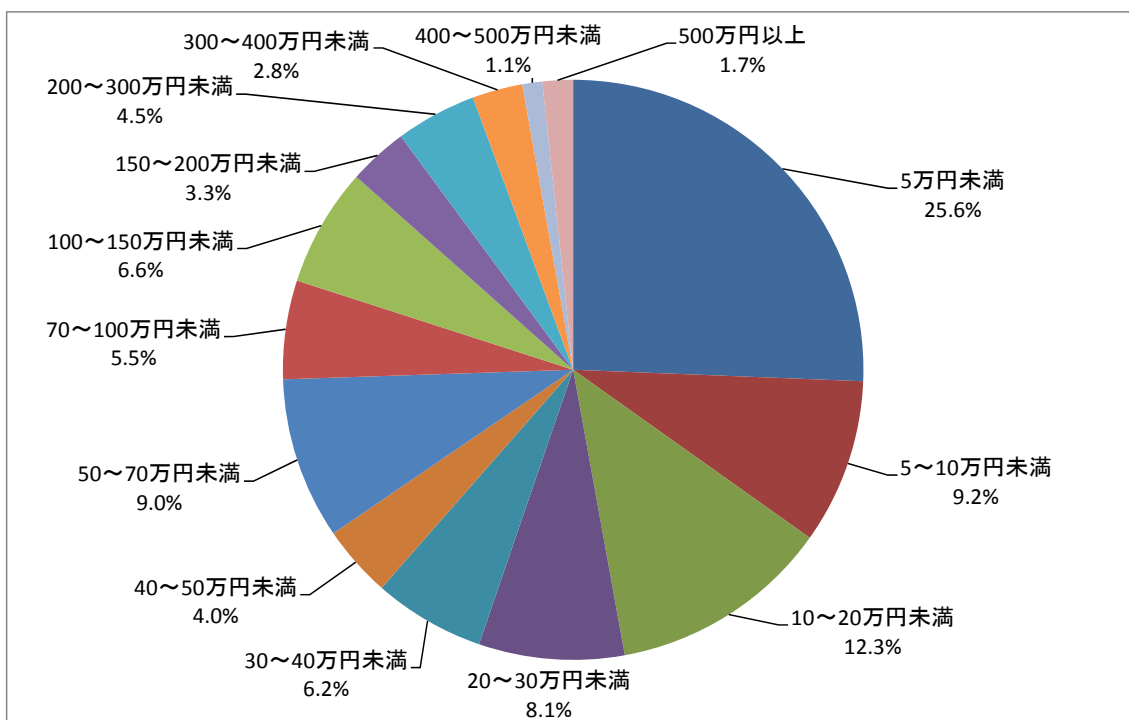
取引先の企業数については、「1社」の比率が42.7%と最も高く、「2社」を含めると67.1%である。



4. 過去1年間の取引先毎の仕事の状況（最大5位まで）：収入（SA, n=2,632）

過去1年間におけるあなたの取引先ごとの在宅ワークの状況についてお聞きします。あなたの在宅ワークの収入はいくらでしたか。取引先ごと〔仲介機関、クラウドソーシングを含む〕に、収入の多い順でお答えください。

取引先数全体で見ると、「5万円未満」が25.6%と最も多く、「10万円未満」だと34.8%、「20万円未満」だと47.1%である。



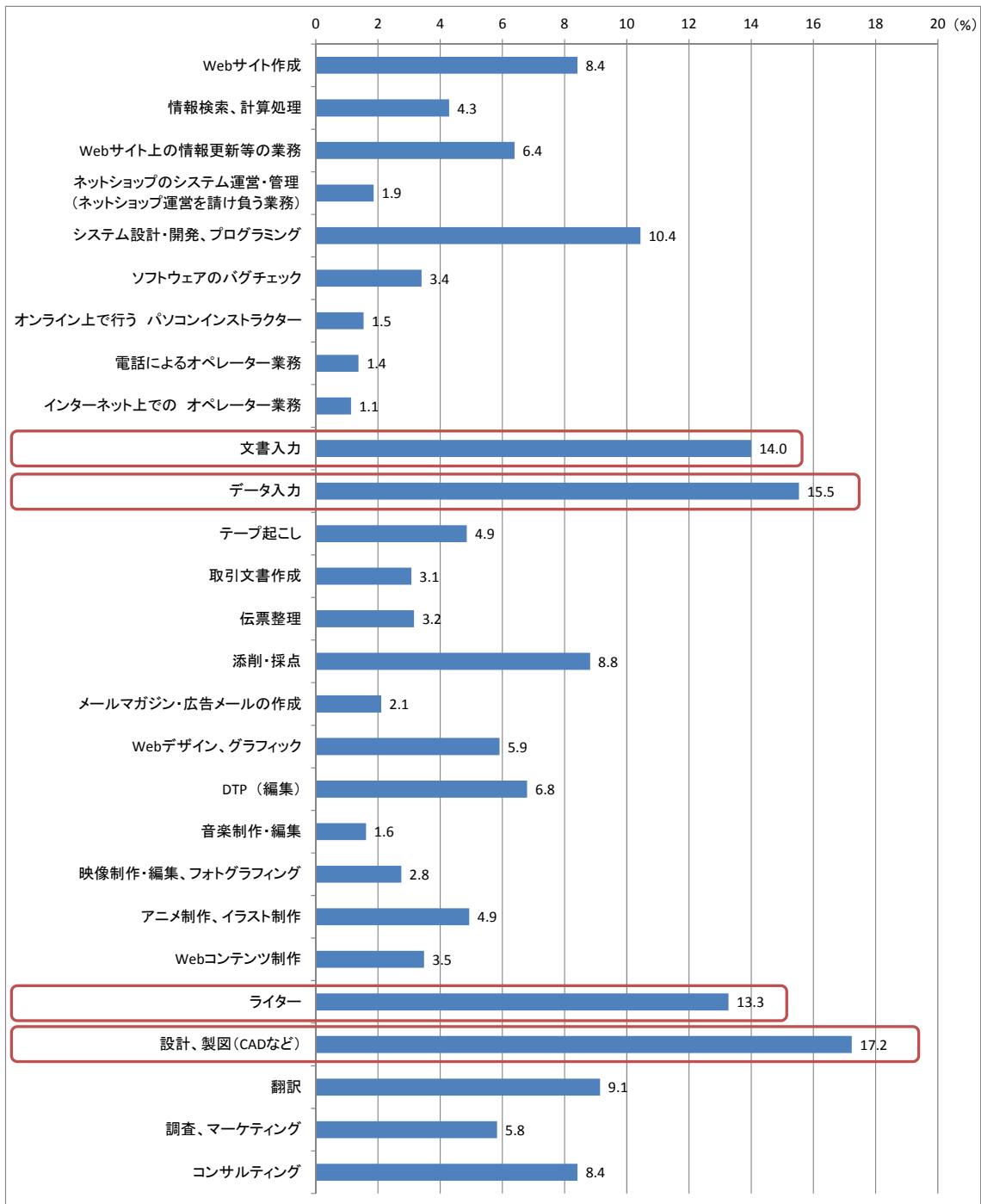
※取引先の順位1位から5位までの回答を合計し、取引先数をn値として集計（SA）

5. 過去1年間の取引先毎の仕事の状況（最大5位まで）：仕事の内容（MA, n=1,236）

過去1年間におけるあなたの取引先ごとの在宅ワークの状況についてお聞きします。現在あなたがやっている在宅ワークの仕事の内容はどのようなものですか。前設問で回答いただいた取引先〔仲介機関、クラウドソーシングを含む〕の順位ごとにお答えください。なお、以下の中から、過去1年間で収入のあった在宅ワークの仕事で該当するもの全てにチェックをつけてください。

取引先の順位1位を見ると、「設計・製図」が最も多く17.2%、次いで「データ入力」が15.5%、「文書入力」が14.0%、「ライター」が13.3%である。

このように、比較的高いスキルを必要とする「設計・製図」、従来からある「文書入力」、文書力が求められる「ライター」の仕事が多いことがわかる。



以上